



支持的風土のある学級について

所長 儀間 稔

長かった夏休みも終わり、各園・各小中学校には子ども達の元気な声が響き、活気が戻ってきたことと思います。先生方も、新たな気持ちで一学期後半のスタートがきれた事でしょう。

教育研究所では、夏休みに法定研修を始め、実践講座を開催してきました。

初任者研修では、同期採用の仲間との交流を深めながら、授業づくりに必要な知識等を得ることができたのではないかと思います。また、十年経験者の皆さんは、幼稚園の体験研修において、幼稚園児との接し方はもちろん、小学校や中学校との繋がり（発達の段階等）を確認できたことでしょう。その他、各講座にも多数の先生方の参加があり、意欲的に受講していただきました。ぜひ、後半の授業実践に活かしていただきたいと思いますと考えております。



さて各園、各小中学校では、平成二十八年度「学力向上推進要項」に基づき、学力向上への取り組みを推進していると思います。小中学校においては、わかる授業の実践として「授業の基盤となる支持的風土をつくる学級経営」と「児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育む言語活動の充実」を重点取組としております。

今年度は、経年経験者研修においても「学級づくりと授業づくりは両輪である」ことを講話の中に入れ、支持的風土のある学級経営と学力向上を意識させております。

夏休み明け、各学級担任の先生方には、新たな気持ちで支持的風土のある学級づくりに取り組み、児童生徒が生き生きと活動している学級を目指していただきたいと思います。

【支持的風土のある学級】

- 児童生徒間、教師と児童生徒間の信頼関係をつくり、児童生徒が安心して自分の思いや考えを表現できる学級
- 生徒指導の三機能（自己決定の場を与える、自己存在感を与える、共感的人間関係を育成する）を生かした授業が行われている学級
- クラス全員が、共通の目標をもっている学級

【教師と子どもの人間関係「信頼」づくりのために】

- 子どもを正しく理解する。
 - ・子どもの言動をよく観察し理解すること
 - ・休み時間は子どもと遊ぶ（話をする）こと
- 指導の一貫性と継続性をもつ。
 - ・良いことと悪いことをしっかりと判断し、一貫して指導を行い続けること
 - 子どもの良いところを見つけて、褒める。
 - きちんとした言葉遣いや話し方ができる。

9・10月の教育研究所事業予定

- | | | |
|-------|-----|--------------------|
| 9月1日 | (木) | 第10回 初任者研修【模擬授業研】 |
| 5日 | (月) | 学級づくり講座Ⅱ（研究所） |
| 6日 | (火) | アクティブ・ラーニング講座（研） |
| 26日 | (月) | 授業づくり講座Ⅱ（研究所） |
| 28日 | (水) | 第106期 研究員 成果報告会（厚） |
| 10月6日 | (木) | 第107期 研究員 入所式（厚） |
| 20日 | (木) | 第9回 教職10年経験者研修（厚） |
| 27日 | (木) | 第11回 初任者研修【道徳代表授業】 |

第106期 教育研究員成果報告会&修了式

第106期教育研究員が、研究所での6ヶ月間の研究成果について、検証授業での様子を交えて報告いたします。

- 期日 9月28日(水) 14:50～
- 場所 那覇市厚生会館3階多目的ホール
- 研究員 澤紙 秀典（関南小学校教諭）
大谷 欣人（古蔵中学校教諭/理科）

教職3年目研修研究授業スタート

9月より教職3年目研修の研究授業が始まります。道徳、特別活動の指導について、1学期前半に見いだした自己の課題の解決を目指して授業を実施し、指導主事や教科指導員による助言を受けることとなります。校長先生、教頭先生には、校内での御指導、調整等でお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

学級づくり講座Ⅱ 授業づくり講座Ⅱ開催のお知らせ

9月5日(月)「学級づくり講座Ⅱ」を9月26日(月)「授業づくり講座Ⅱ」を開催します。1学期を振り返りながら、2学期に向けて円滑な学級経営の工夫や、教科指導についての内容を予定しています。

対象者は、臨時的任用教職員および非常勤講師、教職経験3年未満、その他受講を希望する教員となっております。多くの先生方のご参加をお待ちしております。